

令和元年度 下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,917,814円		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める。		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

●利用状況

		R01 下半期	R01 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期
貸付農地利用区画数		138	135	147	144	155
利用状況	一般用区画A(30㎡) 利用率	60.3%	58.0%	63.4%	63.4%	68.7%
	一般用区画B(40㎡) 利用率	43.8%	43.8%	45.3%	45.3%	45.3%
	一般用区画C(50㎡) 利用率	36.1%	36.1%	39.3%	34.4%	39.3%
	身体障害者用区画E(2㎡) 利用率	60.0%	60.0%	73.3%	73.3%	80.0%
	収穫体験利用組数(組)	875	581	887	590	808
	収穫体験利用人数(人)	2,504	1,668	2,566	1,658	2,475

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導 ⑥耕耘機の無料貸出し	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退勤の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③JAのHP・JAぎふ広報誌に掲載 ④随時除草作業実施 ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施 ⑥下半期(10月～3月): 115件
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕起作業	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 下半期(10月～3月): 0件
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③委託業者による点検を実施(年1回) ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画にすき込み、土づくりに活用(チップパーにより残渣を粉砕) ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認
施設修繕	指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	農業器具等の修繕を自己の営農組織に依頼することで、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備している。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・貸付区画利用者100人を対象に実施。 ・アンケート質問項目：Q1「利用年数」、Q2「申込のきっかけ」、Q3「申込理由」、Q4「利用頻度」、Q5「利用人数・構成」、Q6「管理人の対応」、Q7「利用区画の面積」、Q8「堆肥無料配布」、Q9「耕耘機無料レンタル」、Q10「辞退を考えている理由」、Q11「意見・感想」
利用者アンケートの実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・回収総数 66枚 (回収率 66.0%) Q1「利用年数」……………1年:12.1% 2年以上:83.3% 未回答:4.5% Q2「申込のきっかけ」……………広報誌:44.4% 岐阜市咲楽:0.0% JAぎふ広報誌:5.6% チラシ:0.0% 岐阜市のHP:16.7% JAぎふのHP:5.6% 知人からの紹介:11.1% フェイスブック:0.0% その他:16.7% Q3「申込理由」……………健康維持:30.1% 新鮮な農産物を収穫できる:31.5% 農作業を体験できる:11.9% 自然とふれあえる:14.0% 食育:2.1% 農園利用者とふれあえる:7.7% その他:2.8% Q4「利用頻度」……………ほぼ毎日:0.0% 週に数回:34.8% 1週間に1回:36.4% 1か月に数回:22.7% その他:4.5% 未回答:1.5% Q5「利用人数・構成」……………【人数】1人:51.5% 2人:33.3% 3人:9.1% 4人以上:3.0% 未回答:3.0% 【構成】配偶者:61.0% こども:7.3% その他:19.5% 未回答:12.2% Q6「管理人の対応」……………【回数】もっと指導を:12.1% ちょうどよい:71.2% 指導不要:4.5% 未回答:12.1% 【内容】大変満足:0.0% 満足:69.7% やや不満:9.1% 大変不満:0.0% 未回答:21.2% Q7「利用区画の面積」……………30㎡:62.5% 40㎡:25.0% 50㎡:9.7% 2㎡:0.0% 未回答:2.8% Q8「堆肥無料配布」……………大変満足:13.4% 満足:38.8% やや不満:1.5% 大変不満:9.0% 利用していない:31.3% 未回答:6.0% Q9「耕耘機無料レンタル」……………大変満足:22.7% 満足:33.3% やや不満:4.5% 大変不満:0.0% 利用していない:33.3% 未回答:6.1% Q10「辞退を考えている理由」……………時間:20.0% 体調不良:40.0% 使用料:20.0% 土質:0.0% 立地条件:0.0% 他農園:20.0% Q11「意見・感想」……………楽しんでる。係員への感謝。等等
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・空区画、通路の雑草が目立つ。ゴミ捨て場のようになっている。 ⇒除草作業やゴミの回収、園内見回りの回数を増やして対応する。 ・空区画、使用料が高い。 ⇒平成24年度に1度使用料を下げており、現時点では今後も下げる予定はない。JAぎふ機関紙において、施設の紹介や募集記事等を記載。JAぎふ支店のグリーンセンターやJAぎふ管理事務所、ホームセンター等にポスターを設置し、ふれあい農園の紹介用パンフレットを各所で配布する等、利用者拡大に努めた。 ・来園者・利用者の禁止行為を守らせてほしい。 ⇒注意喚起の案内を掲示している。管理人による巡回を強化し、マナーの悪い方へは随時注意をする。 ・堆肥を再開してほしい。 ⇒令和2年度から再開できる旨を納付書送付時に案内した。 ・耕耘機の使用法や、初心者なので色々わからないことを教えてほしい。 ⇒気軽に聞いてもらえるように耕耘機の場所や掲示板などに「管理人までお声がけください」などの貼り紙をする <p>アンケートの意見・結果については指定管理者に伝え、指定管理者で改善できるものはお願いしている。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を超えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト縮減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元自治会等との連絡協力体制が整っているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・JAぎふ機関紙において、施設の紹介や募集記事等を記載した他、JAぎふ支店やグリーンセンター等に紹介パンフレットを配布するなど、利用者拡大に努めた。 ・収穫体験の次年度継続申請案内送付時に、貸付区画の利用案内パンフレットを同封しPRを実施した。 ・収穫体験利用者向けに、収穫作物の簡単なレシピを作成した。
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メール等のITを活用して、収穫時期を逸さない連絡を行うことについて関連部署と協議しているが、個人情報等の管理など課題がある。 ・利用者へのサービス提供の一つとして体験会員へ収穫作物の簡単なレシピを配布した。
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市健康ふれあい農園にしかない新たな収穫体験作物として、「ヤーコン」の試験栽培を行っている。 ・安定した収穫を見込めるように、令和2年度募集分より「小松菜」を新規導入した。

●所管課の意見

<p>・貸付区画の利用者が年々減ってきているが、施設の紹介や募集記事等を機関紙に掲載したり、収穫体験者に貸付区画の利用案内パンフレットを同封したり、各所で紹介パンフレットを配布するなど、利用者拡大に努めていることは評価したい。利用者が高齢化していることもあり、今後も利用者減の傾向は続くと考えられるが、引き続きPR活動に努めてもらいたい。</p> <p>・前回評価委員会でご意見いただいた通信手段の改善についても、引き続き検討をお願いしたい。</p> <p>・3月中旬に予定していたほうれん草(2回目)の収穫体験について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止を提案し、収穫したほうれん草を申込者に郵送するなど、申込者に配慮した行動を迅速かつ丁寧に行ってことを評価したい。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・市が提供する農園としての特徴(強み)を明確にした事業、例えば家族全員で楽しむことのできる農園の活用方法や特色のある野菜作り等を提案することにより、利用者に農園のファンになってもらう取り組みも重要です。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響下での農園運営については、農園の設置目標であります「健康増進」、「家族とのふれあい」、「農業に関する理解を深める」を実現するための手法も含め、将来の運営形態を見据えた新たな取り組みを期待します。</p> <p>・新型コロナウイルスで室内にこもりがちな状況を逆手にとり、野外で活動できることを強みとして広報紙やホームページ等で特集を組むなどのPRを行い、今利用の少ない世代にも幅広く利用いただけることを期待します。</p> <p>・アンケートについて、ステータス別の要望を具体的に把握するため、各回答ごとの紐づけがわかるとよいと考えます。</p>
